

施策2

スポーツ・文化活動の振興  
(全 30 事務事業)

## 施策2.スポーツ・文化活動の振興

● 施策評価表

● 事務事業評価表

掲載開始  
ページ

1. 国際交流事業	(まちの魅力推進課)	2-1
2. シーメイトの湯管理運営事業	(福祉課)	2-3
3. シーメイトグラウンド管理運営事業	(福祉課)	2-5
4. シーメイト屋内施設管理運営事業	(福祉課)	2-7
5. シーメイト屋外施設維持管理事業	(福祉課)	2-9
6. スポーツ推進委員活動支援事業	(社会教育課)	2-11
7. スポーツ協会支援事業	(社会教育課)	2-13
8. 大会等参加支援事業	(社会教育課)	2-15
9. 新体力テスト会開催事業	(社会教育課)	2-17
10. 糟屋地区社会教育振興会参画事業	(社会教育課)	2-19
11. 社会教育委員の会運営事業	(社会教育課)	2-21
12. 文化協会活動支援事業	(社会教育課)	2-23
13. 文化祭開催事業	(社会教育課)	2-25
14. 図書館図書貸出事業	(社会教育課)	2-27
15. 図書館一般講座開催事業	(社会教育課)	2-29
16. 図書館ボランティア活動支援事業	(社会教育課)	2-31
17. 図書館開館30周年記念事業	(社会教育課)	2-33
18. 生涯学習館ボランティア講師派遣事業	(社会教育課)	2-35
19. 生涯学習推進委員会運営事業	(社会教育課)	2-37
20. 生涯学習館一般講座開催事業	(社会教育課)	2-39
21. 生涯学習館学習発表会開催事業	(社会教育課)	2-41
22. 町民センター管理運営事業	(社会教育課)	2-43
23. 図書館管理運営事業	(社会教育課)	2-45
24. 広域体育施設活用事業	(社会教育課)	2-47
25. 社会体育館等管理運営事業	(社会教育課)	2-49
26. 運動広場管理運営事業	(社会教育課)	2-51
27. 総合公園施設管理運営事業	(社会教育課)	2-53
28. 体育施設整備事業	(社会教育課)	2-55
29. 町民センター改修事業	(社会教育課)	2-57
30. 生涯学習館管理運営事業	(社会教育課)	2-59

施策評価表 (事業実施年度:令和 04 年度)			前期基本計画期間 <<令和3年度~7年度>>	
体 計 系 画	基本目標	1. “ひと”と“まち”がにぎわい魅力あふれるまち	施策統括課	社会教育課
	施策	2. スポーツ・文化活動の振興	関係課	まちの魅力推進課・福祉課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
スポーツ行事の参加者数	人	4,510	4,546		c
2-1		↗	102		
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9	98.3		b
2-2		↗	97.8		
町民図書館における 町民一人あたりの貸出冊数	冊	3.2	3.2		a
2-2		→	4.6		
町内のスポーツ施設・文化施設を 利用したことがある町民の割合	%	41.0	44.6		c
2-3		↗	32.9		
町内のスポーツ施設・文化施設に対する 満足度	%	78.9	83.3		b
2-3		↗	78.9		

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

2-1 スポーツ活動を支援する		所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) スポーツ活動の支援 52位 / 9位		社会教育課
町が取り組むべきこと①	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のスポーツ活動を広く推進しているスポーツ協会への運営サポートと補助金の交付を行った。</li> <li>・スポーツやレクリエーションの普及啓発を行うスポーツ推進委員会の事務局として、活動を支援した。</li> <li>・新体力テスト会をスポーツ推進委員と実施内容を検討して開催した。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事を中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。</li> </ul>	
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。</li> </ul>	
町が取り組むべきこと②	スポーツを身近に親しむことができるよう、手軽にできるスポーツやレクリエーションの普及啓発を推進します。	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会等で軽スポーツを実施してもらうため用品の貸し出しを行った。</li> </ul>	
課題	なし	
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テスト会などに参加してもらい、自身の体力を把握し、日常における体力づくりのためにスポーツに接する機会を増やし、スポーツへの関心・意欲を高めてもらう。</li> </ul>	
<b>町が取り組むべきことの達成状況</b>		
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない		

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	<b>スポーツ推進委員活動支援事業</b>		特定財源	0	0	0	D	-	D 成果・費用とも維持
	スポーツ推進委員のスポーツ推進活動が活発に行われるよう、スポーツ推進活動の支援を行う。		一般財源	274	846	2,036			
			<b>合計</b>	<b>274</b>	<b>846</b>	<b>2,036</b>			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.20	0.19	0.19				
2	<b>スポーツ協会支援事業</b>		特定財源	0	0	0	D	○	D 成果・費用とも維持
	志免町スポーツ協会の活動が活発に行われるよう、スポーツの普及、振興を図る活動の支援を行う。		一般財源	4,046	4,378	4,462			
			<b>合計</b>	<b>4,046</b>	<b>4,378</b>	<b>4,462</b>			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.19	0.19	0.19				
3	<b>大会等参加支援事業</b>		特定財源	0	0	0	D	-	D 成果・費用とも維持
	糟屋郡民スポーツ大会等の上位大会の出場選手の大会に参加する経済的な負担が軽減されるよう、助成金の交付等の参加の支援を行う。		一般財源	754	1,493	2,975			
			<b>合計</b>	<b>754</b>	<b>1,493</b>	<b>2,975</b>			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.17	0.18	0.18				
4	<b>新体力テスト会開催事業</b>		特定財源	0	0	0	D	-	D 成果・費用とも維持
	町民が日常的な体力づくりができるよう、新体力テスト会の開催を行う。【R3年度休止事業】		一般財源	0	5	5			
			<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>5</b>			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.05	0.10	0.10				
<b>町が取り組むべきことを構成する事業の方向性</b>									
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし							
	拡充事業の方向性や内容	なし							
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R6年度の町が取り組むべきことの方向性			<input type="checkbox"/> 最優先 <input checked="" type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持						

<b>2-2 生涯学習・文化活動を支援する</b>	<b>所管課</b>
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 生涯学習・文化活動の支援 51位 / 3位	社会教育課

<b>町が取り組むべきこと①</b>	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、発表会・美術展等)をしている文化協会に助成金を交付した。</li> <li>・文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施しているが、コロナ禍のため中止した。</li> <li>・図書館での教養講座はコロナ禍で中止した。</li> <li>・生涯学習館の講座では、受講生を増やすため、講座開催の周知についてホームページ、広報誌など、様々な手段で情報発信を行った。</li> <li>・「生涯学習館フェスタ」については、コロナ禍のため縮小して開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行がなくなっている。</li> <li>・文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、町民が参加しやすい講座を開催する。</li> <li>・文化協会と連携を強化し、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきこと②</b>	町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のための日本語講座を開催した。</li> <li>・国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍のため実施できなかった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の町が行っている国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍では実施が困難である。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、国際感覚を育む講座を開催する。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきこと③</b>	新しい本や特設コーナーの紹介など、町民図書館の情報を発信します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙だけでなく、ホームページに写真を掲載して毎月の特設コーナーを紹介した。</li> <li>・令和5年4月サービス開始に向け、電子図書館開設の準備を進めた。</li> </ul>
課題	なし
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙掲載や館内掲示に加えて、ホームページやLINE、dボタン広報誌による情報発信を積極的に行い、新たな利用者増を目指す。</li> <li>・引き続き、広域電子図書館を運営し、利用者へ提供する。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきこと④</b>	町民の生きがいづくりや文化活動を通じた仲間づくりのため、読み聞かせなどの町民図書館主催イベントのボランティア活動を支援します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の活動を支援するため助成金を交付し、活動場所を確保した。</li> <li>・よみかせを行うため、学校など関係機関との連絡調整を担った。</li> <li>・ボランティア団体と協議し、新しい会員募集を含めた今後の活動の方向性を共有した</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアが高齢化している</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成講座を開催し、各団体の活動内容を紹介して新会員を募集する。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきことの達成状況</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)												
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価					
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性			
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算						
1	<b>国際交流事業</b>		特定財源	0	0	231	D	-	D			
			一般財源	186	297	410						
			合計	186	297	641						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
まちの魅力推進課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.40	0.25	0.50	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
2	<b>糟屋地区社会教育振興会参画事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	1,622	1,535	1,844						
			合計	1,622	1,535	1,844						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.16	0.15	0.16	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
3	<b>社会教育委員の会運営事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	155	513	995						
			合計	155	513	995						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.23	0.21	0.21	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
4	<b>文化協会活動支援事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	1,260	1,260	1,260						
			合計	1,260	1,260	1,260						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.16	0.15	0.16	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
5	<b>文化祭開催事業</b>		特定財源	0	0	0				B	○	B
			一般財源	0	7	2,092						
			合計	0	7	2,092						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.12	0.19	0.20	成果拡充・費用維持	○	成果拡充・費用維持			
6	<b>図書館図書貸出事業</b>		特定財源	36	3,146	40				A	○	D
			一般財源	7,050	8,391	12,714						
			合計	7,086	11,537	12,754						
			(内 会計年度任用職員人件費)			(2,298)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.73	0.50	0.35	成果拡充・費用拡大	○	成果・費用とも維持			
7	<b>図書館一般講座開催事業</b>		特定財源	0	0	30				D	-	D
			一般財源	0	0	25						
			合計	0	0	55						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.09	0.19	0.09	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
8	<b>図書館ボランティア活動支援事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	82	115	115						
			合計	82	115	115						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.22	0.27	0.12	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
9	<b>図書館開館30周年記念事業</b>		特定財源	0	0	-				-	-	-
			一般財源	147	0	-						
			合計	147	0	-						
			(内 会計年度任用職員人件費)			-						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.67	0.57	-	休止・廃止済	-	-			
10	<b>生涯学習ボランティア講師派遣事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	0	0	10						
			合計	0	0	10						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.07	0.07	0.04	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
11	<b>生涯学習推進委員会運営事業</b>		特定財源	0	0	0				D	-	D
			一般財源	48	48	96						
			合計	48	48	96						
			(内 会計年度任用職員人件費)									
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.12	0.13	0.18	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持			
12	<b>生涯学習館一般講座開催事業</b>		特定財源	314	471	820				D	○	D
			一般財源	3,070	3,291	4,368						
			合計	3,384	3,762	5,188						
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,088)	(2,077)	(2,235)						
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.22	0.17	0.22	成果・費用とも維持	○	成果・費用とも維持			

生涯学習館学習発表会開催事業		特定財源	0	0	0	D	D	
		一般財源	0	39	510			
13	町民が生涯学習に対する興味や関心が深まり、また受講生の学習意欲が向上するよう、発表会の開催を行う。	合計	0	39	510	成果・費用とも維持	—	成果・費用とも維持
		(内 会計年度任用職員人件費)						
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.12	0.12	0.17	
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性								
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし						
	拡充事業の方向性や内容	・文化祭開催事業では、商工会との合同開催により、経費の縮減と来場者の増加が期待される。また、より質の高い文化祭を開催する方法として、企画から運営までを専門の民間企業に委託することも検討していく必要がある。						
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし						
	縮小事業の方向性や内容	なし						
R6年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持						



<b>2-3 スポーツ・文化活動ができる場を提供する &lt;重点取組&gt;</b>	<b>所管課</b>
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) スポーツ活動・文化活動ができる場所の確保 42位 / 11位	社会教育課

<b>町が取り組むべきこと①</b>	施設の老朽化に対応するため、志免町公共施設個別施設計画に基づき、優先順位を明確にして、段階的に改修します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設等利用者から施設修繕などの要望があった場合、状況を確認してその都度対応した。</li> <li>・施設の使用停止に伴い、弓道場の整備を行った。</li> <li>・町民センター改修に向けて実施設計を行った。</li> <li>・シーメイトの施設や設備の老朽化による突発的な改修や修繕が発生し、対応した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設全体の老朽化が進んでおり、必要な改修ができていない施設が存在している状況である。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設については、劣化状況や施設が持つ役割等により優先度を決定し、効率的な改修に取り組む。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきこと②</b>	町に設置が困難な屋内プールなどについては、近隣施設の利用を支援します。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を町民の人が低料金で利用できるよう、施設利用の契約を締結した</li> </ul>
課題	なし
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も施設管理者と利用契約し、町民の人が安価で利用できるようにする</li> </ul>
<b>町が取り組むべきこと③</b>	施設予約や使用料の支払いなど施設の利用方法の利便性を向上させます。
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設インターネット予約システム、キャッシュレス決済の導入及び運用に向けて協議を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設インターネット予約及びキャッシュレス決済の手続きについて、利便性は向上するものの煩雑な操作方法を懸念する利用者の声がある。</li> <li>・公共施設予約システムの改修運用に向け各設定の確認や規則の見直し、公共施設を管轄する各課との擦り合わせ等が必要となっている。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設インターネット予約システム及びキャッシュレス決済について、積極的に利用してもらえるよう、分かりやすい手続き方法の案内と周知を図る。</li> </ul>
<b>町が取り組むべきことの達成状況</b>	
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	シーメイトの湯管理運営事業		特定財源	5,118	14,066	8,930	D	-	D
			一般財源	23,594	29,039	30,165			
			合計	28,712	43,105	39,095	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
福祉課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.28	0.30	0.28				
2	シーメイトグラウンド管理運営事業		特定財源	2,524	3,918	3,714	D	-	D
			一般財源	5,455	5,461	6,408			
			合計	7,979	9,378	10,122	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
福祉課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.26	0.27	0.27				
3	シーメイト屋内施設管理運営事業		特定財源	19,339	19,080	22,389	D	-	D
			一般財源	81,757	90,963	93,492			
			合計	101,096	110,043	115,881	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(13,202)	(13,863)	(17,026)			
福祉課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.27	0.28	0.30				
4	シーメイト屋外施設維持管理事業		特定財源	1,562	1,264	120	D	-	D
			一般財源	9,361	12,115	15,833			
			合計	10,923	13,379	15,953	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(2,168)	(2,228)	(2,327)			
福祉課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.26	0.27	0.27				
5	町民センター管理運営事業		特定財源	2,396	4,182	800	D	-	D
			一般財源	31,297	26,991	20,769			
			合計	33,693	31,173	21,569	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(7,757)	(7,845)	(5,936)			
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.79	0.81	0.42				
6	図書館管理運営事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	22,625	22,083	23,498			
			合計	22,625	22,083	23,498	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(21,101)	(21,261)	(22,515)			
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.40	0.52	0.37				
7	広域体育施設活用事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	213	317	1,136			
			合計	213	317	1,136	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.09	0.11	0.11				
8	社会体育館等管理運営事業		特定財源	845	2,095	1,441	D	-	D
			一般財源	12,825	13,294	14,488			
			合計	13,670	15,388	15,929	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(1,789)	(2,150)	(2,246)			
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.09	0.40	0.40				
9	運動広場管理運営事業		特定財源	221	251	-	D	-	D
			一般財源	5,443	5,325	-			
			合計	5,664	5,576	番号10に統合	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)			-			
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.55	0.42	-				
10	総合公園施設管理運営事業		特定財源	9,076	11,322	4,943	D	-	D
			一般財源	3,034	1,644	9,170			
			合計	12,110	12,966	14,113	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.53	0.44	0.72				
11	体育施設整備事業		特定財源	25,938	57,590	279,480	D	○	D
			一般財源	0	1,552	9,869			
			合計	25,938	59,142	289,349	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.76	0.88	0.82				
12	町民センター改修事業		特定財源	0	56,980	60,743	D	○	D
			一般財源	19,791	0	0			
			合計	19,791	56,980	60,743	成果・費用とも維持		
			(内 会計年度任用職員人件費)						
社会教育課   一般会計		関与 正職員数(人)	0.52	0.37	0.56				

13	生涯学習館管理運営事業		特定財源	805	1,285	1,643	D	成果・費用とも維持
			一般財源	15,201	17,274	19,067		
			合計	16,006	18,558	20,710		
			(内 会計年度任用職員人件費)	(5,808)	(6,087)	(6,396)		
社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.56	0.71	0.51		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性

ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし

R6年度の町が取り組むべきことの方向性

- 最優先
- 優先
- 維持

3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標の達成度は「町民図書館における町民一人あたりの貸出冊数」は目標値を達成している。「講座内容に満足している講座生の割合」もあと少しで目標値を達成する。「スポーツ行事の参加者数」の実績値はスポーツ行事がコロナ禍で中止になったことが影響している。「町内のスポーツ施設・文化施設を利用したことがある町民の割合」、「町内のスポーツ施設・文化施設に対する満足度」ともに目標値に達していないが、コロナ禍での利用状況が影響していると考えられる。今後は、施設のインターネット予約が始まるため、利用者数もコロナ禍前に戻るように取り組みを進める。また、スポーツ活動や生涯学習・文化活動を支援するために、関係団体と連携し取り組みを進めていくとともに、それらの活動ができる場を提供するために、志免町公共施設個別施設計画に基づき改修していく。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0402201
事務事業名		国際交流事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	地域づくり係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	01	総務管理費
					目	01	一般管理費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 2 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊧ 町内在住外国人	人	644	731	731
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	(町民)異文化に触れることができ、国際理解を深め、国際感覚を養うことができる。 (町内在住外国人)日本語や日本文化への理解を深める。				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町民の国際理解、国際感覚を育むための講座等を開催する。また、志免町在住や勤務する外国人が日本語を学び、外国での生活を支援する。 ・外国人のための日本語講座の開催 ・国際交流行事の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	外国人のための日本語講座開催数	回	目標	47	44	45
				実績	31	44	
イ	活動	国際交流行事開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	1	
ウ	成果	外国人のための日本語講座受講者数(延べ人数)	人	目標	250	200	250
				実績	115	267	
エ	成果	国際交流行事参加者数	人	目標	30	30	30
				実績	未開催	10	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	267	0	231		
一般財源			186	266	297	410		
合計(A)			186	533	297	641	533	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		3,013	2,604	1,914	3,878		
	トータルコスト(A)+(B)		3,199	3,137	2,211	4,519		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.40	0.34	0.25	0.50		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成2年12月に発足した志免町国際交流町民会議に合わせ事業を開始した。平成23年3月に同会議が解散したため、一時事業を中断したが、平成24年4月に事業を再開した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 年々、外国がより身近になり、外国文化への理解が進んでいる。留学や就労で来る外国人も年々増えている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 日本語講座に町外在住者が参加したいとの要望がある。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	国際理解を相互に深めることは、文化活動の振興につながるため、上位施策への貢献度がある。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国際交流事業の意図は国際理解を相互に深めることであり、総合計画及び総合戦略と合致している。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画及び総合戦略において町の取り組みとして位置づけられている。また、日本語教室の運営はボランティア講師が行っており、町と住民が役割を分担して事業に取り組んでいるため、妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症も収束に向かっており、国際交流行事の開催に向けて準備を進め、成果向上を図る。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象は年代・国籍を問わず町民全体とすることが適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	今年度からコロナ禍でも可能な広報を活用した新しい事業を検討・実施したが、掲載内容などについて改善の余地がある。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業実施にあたり町が担う業務は必要最低限で取り組んでいるため、効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業実施にあたり町が担うコストは必要最低限で取り組んでいるため、削減の余地がない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	日本語講座は受益者負担をしてもらっているが、イングリッシュプログラムは旅行業法で参加費の徴収が困難であるため、改善の余地はなく、財源確保は適切である。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	事業内容の手段の見直しとして、広報を活用して国際交流の情報を発信したが、掲載内容を分かりやすくするなど、成果の向上を図るために改善していく必要がある。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
<b>b</b>		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	<b>D</b>		
		縮小		F			
		休廃止	G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報				<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	0902301	
事務事業名		シーメイトの湯管理運営事業			担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
					款	03	民生費	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	01	社会福祉費	
					目	05	総合福祉施設管理費	
根拠法令条例等		志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,518	46,631	46,532
		④				
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・快適に入浴施設を利用できる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	シーメイトの浴場と電子浴ルームの管理運営を行う。 ・浴場の運営事務 ・利用料収納事務 ・施設維持管理業務(浴場清掃や浴場受付などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	浴場開場日数	日	目標	256	256	92.6%
				実績	182	237	
イ	活動	修繕件数	件	目標	8	5	120.0%
				実績	7	6	
ウ	成果	浴場利用者数	人	目標	40,000	30,000	125.5%
				実績	17,756	37,663	
エ	成果	修繕対応率(修繕件数/修繕必要件数)	%	目標	100.0	100.0	100.0%
				実績	100.0	100.0	
オ	成果	管理不足に起因する事故発生件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			5,033	13,155	10,153	8,780		
その他特定財源			85	280	3,913	150		
一般財源			23,594	24,833	29,039	30,165		
合計(A)			28,712	38,268	43,105	39,095		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,111	2,373	2,296	2,170		
	トータルコスト(A)+(B)		30,823	40,641	45,401	41,265		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.28	0.31	0.30	0.28		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、誰もが利用できる施設として浴場、電子浴ルームの営業を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、設備の修繕が多くなっている。燃料費の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望(利用者) ・休館日翌日が休湯日と知らなかった。分かりにくい。 ・休館日翌日も営業してほしい。・入墨者の入浴を禁止してほしい。 ・お湯が熱い。又は、お湯がぬるい。 ・冷房を強くしてほしい。 ・サウナを再開してほしい。
--	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	浴場・電子浴ルームを安全かつ低料金で利用できることによって、健康維持・増進やスポーツ・文化活動の振興に貢献している。また、人とふれあうことで地域活動に参加するきっかけとなっているが、利用者の過半数は町外在住者である。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い					
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い					
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍による休業やボイラーの故障により利用ができない期間があり成果の向上余地がある。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受付などの管理は委託している。また他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。	2			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い					
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	令和4年度に老朽化したボイラー2基の内1基を更新したが、未更新のボイラー及び、ろ過装置等の老朽化による修繕が見込まれる。施設を維持するためには、受益者負担を見直す必要がある。	
	有効性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
	効率性	合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
<b>b</b>		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	<b>D</b>			
縮小		F				
休廃止		G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	0902302
事務事業名	シーメイトグラウンド管理運営事業			担当課	福祉課	担当係 福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
					03	民生費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		01	社会福祉費
					05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・スポーツや行事等でグラウンド等が快適に利用できる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	シーメイト敷地内のグラウンド等の管理運営を行う ・グラウンド等の受付業務 ・グラウンド等の維持管理業務(施設管理や電気保安管理などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	グラウンド利用申請日数	日	目標	356	357	98.0%
				実績	309	350	
イ	活動	多目的広場占用利用申請日数	日	目標	306	306	65.7%
				実績	145	201	
ウ	成果	グラウンド利用者数	人	目標	32,000	30,000	111.1%
				実績	21,763	33,324	
エ	成果	多目的広場占用利用者数	人	目標	6,000	5,000	112.6%
				実績	3,454	5,631	
オ	成果	グラウンド稼働率(時間)	%	目標	100.0	80.0	60.0%
				実績	44.0	48.0	
カ	成果	多目的広場占有稼働率(時間)	%	目標	50.0	50.0	18.0%
				実績	8.0	9.0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	6	
受益者負担			2,465	3,176	3,861	3,658		
その他特定財源			59	95	57	50		
一般財源			5,455	6,005	5,461	6,408		
合計(A)			7,979	9,276	9,378	10,122		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,960	1,990	2,066	2,093		
	トータルコスト(A)+(B)		9,939	11,266	11,444	12,215		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.26	0.26	0.27	0.27		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで障がい者も健常者もすべての町民が利用できるグラウンドを開放した。 平成23年度から多目的広場に防球用のネットが設置されることになり、それを契機にグラウンドゴルフ・ゲートボール場、サッカー・ソフトボールの練習場、幼稚園・保育園のレクリエーション・運動会の練習場、大規模イベント時の駐車場等の用途に供するため、同年	②事務事業を取り巻く環境の変化 グラウンドや多目的広場の利用ニーズは、大きい。令和5年度に公共施設予約システムの改修が行われネット予約が開始されると更に利用者が増えることが想定され駐車場の確保が重要となる。また、物価、人件費の高騰により、ナイター設備の省電力化や受益者負担の見直しが必要。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者から) ・雨宿りや日除けができる場所がほしい。 ・荷物置き場がほしい。ベンチが欲しい。 (志免町役場) ・令和5年度より使用料還付の基準を他の社会教育施設等と同様とする見直しを行った。
---	---	--



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	市民がグラウンド等を快適に利用できることは、スポーツに親しみやすい環境づくりにつながる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ・文化活動ができる場を提供する」としているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町総合福祉施設シーメイト条例において、グラウンド等の管理運営の事業を行うこととしている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍により減少している利用者数が回復することによって、成果の向上が期待できる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	快適に利用してもらうためには必要な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設管理はシルバー人材センターに委託している。他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の維持管理のためには必要な経費であり、コスト削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり受益者負担の観点よりナイター設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	コロナ禍による利用者の減少は、回復傾向にある。今後は老朽化したナイター設備の改修などが必要となってくる。また、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
<b>b</b>		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	<b>D</b>		
		縮小		F			
		休廃止	G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報

令和04年度 実施計画事業  総合戦略該当事業

事務事業コード 0902303

事務事業名	シーメイト屋内施設管理運営事業			担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	03	民生費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	01	社会福祉費
					目	05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 16 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして)	・活動に応じた施設を快適に利用できる				
	※04年度に行った主な活動	シーメイト内の各部屋の貸出や管理、また施設内にある機器全般の保守、修繕、整備業務等を行う(有料貸出施設:シーメイトホール、シーメイトホール控室、会議室[5室]、和室[2室]、研修室、工芸室、調理実習室、交流室、エントランスホール) ・施設の貸出業務、施設管理、備品管理、修繕委託業務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	貸出可能時間数	時間	目標	44,064	44,064	99.5%
				実績	32,112	43,824	
イ	活動	修繕箇所	件	目標	22	20	115.0%
				実績	18	23	
ウ	成果	会議室等の利用者数(延べ)	人	目標	40,000	50,000	89.8%
				実績	30,078	44,895	
エ	成果	貸出時間数	時間	目標	10,000	10,000	86.8%
				実績	5,947	8,683	
オ	成果	施設稼働率	%	目標	35.0	30.0	65.7%
				実績	19.0	19.7	
カ	成果	修繕対応率	%	目標	100.0	100.0	100.0%
				実績	100.0	100.0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	14	
受益者負担			13,657	18,150	14,514	15,357		
その他特定財源			5,682	7,600	4,566	7,018		
一般財源			81,757	86,527	90,963	93,492		
合計(A)			101,096	112,277	110,043	115,881		
(内 会計年度任用職員人件費)			13,202	14,561	13,863	17,026		
正職員人件費[按分](B)			2,036	2,143	2,143	2,325		
トータルコスト(A)+(B)			103,132	114,420	112,185	118,206		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.27	0.28	0.28	0.30		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年度の開館当初より、将来の少子化、高齢社会の進展に伴う、子どもたちの健全育成、高齢者、障害者の自立のための総合的情報の発信、交流の場を提供する事を目的に開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。電気料の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者) ・楽器演奏他音出しできる部屋を増やしてほしい。 ・エアコンの効きが悪い。
--	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	安全かつ低料金で施設を提供することによって、町民のスポーツ・文化活動の場となっている。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の町民が会議室等の施設を快適に利用できる場を提供することは適切である。また、シーメイト条例に施設の設置について定めている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	施設運営の民間委託等について検討の余地がある。 ☒ ☒	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	管理面において問題はなく期待する成果が得られているが、コロナ禍により減少している利用者数の回復が望まれる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。☒ ☒ ☒	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活動に応じた施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で効率的に行っている。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	需用費や委託料など、施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>b</b>		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報				<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	0902304
事務事業名	シーメイト屋外施設維持管理事業			担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	03	民生費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	01	社会福祉費
					目	05	総合福祉施設管理費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	シーメイト敷地の屋外施設(駐車場、遊具、樹木、街灯等)の管理、保守、修繕、整備業務等を行う ・維持管理業務(樹木管理や屋外トイレ清掃などの業務を委託、施設修繕)				
		・なかよしパークやウォーキングロード、ポケットパークなどシーメイトの屋外施設を安全で快適に利用できる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率	
ア	活動	修繕件数	↑	件	目標	10	5	200.0%
					実績	5	10	
イ	活動	維持管理業務委託件数	↑	件	目標	6	6	100.0%
					実績	6	6	
ウ	成果	管理不足に起因する事故発生件数	↓	件	目標	0	0	
					実績	0	0	
エ					目標			
					実績			
オ					目標			
					実績			
カ					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			1,562	960	1,264	120		
一般財源			9,361	11,850	12,115	15,833		
合計(A)			10,923	12,810	13,379	15,953		
(内 会計年度任用職員人件費)			2,168	2,268	2,228	2,327		
正職員人件費[按分](B)			1,960	1,990	2,066	2,093		
トータルコスト(A)+(B)			12,883	14,800	15,445	18,046		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.26	0.26	0.27	0.27		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで障害者も健常者もすべての町民が利用できる屋外施設として供用を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。遊具等無料開放の設備も多く維持コストが負担となっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者) ・複合遊具等があり、家族や孫と過ごせる場所として利用できる。 ・なかよしパークベンチにおいて置き引きが発生した。 ・安心して過ごせて良い。・使いやすい。 ・ウォーキングロードの照明が暗い。
--	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	市民のスポーツ・文化の場、交流の場である施設を安全で快適に利用できることは上位施策の目指す姿に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、市民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の市民が安全かつ快適に利用できる場を提供することは適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例においてシーメイトのなかよしパークやウォーキングロード等の管理運営事業を行うこととしている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	管理不足による事故発生はなく、期待する成果が十分に得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で効率的に行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	誰でも利用できる公園のような施設であり、受益者負担にはなじまない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502101	
事務事業名	スポーツ推進委員活動支援事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		款	10	教育費
					項	06	保健体育費
					目	02	体育振興費
根拠法令条例等		スポーツ基本法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 36 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		⑦ スポーツ推進委員	人	15	15	15
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・スポーツ推進活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	教育委員会が委嘱するスポーツ推進委員のスポーツ推進活動の支援を行う ・事務局運営事務(定例会開催事務等) ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	定例会開催数	回	目標	14	14	64.3%
				実績	3	9	
イ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加回数(スポーツ推進委員)	回	目標	18	18	55.6%
				実績	6	10	
ウ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加延べ人数(スポーツ推進委員)	人	目標	30	30	100.0%
				実績	12	30	
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			274	2,020	846	2,036		
合計(A)			274	2,020	846	2,036	2,020	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,510	1,532	1,449	1,471		
	トータルコスト(A)+(B)		1,784	3,552	2,294	3,507		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.20	0.20	0.19	0.19		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和36年、スポーツ振興法に基づき委嘱された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成23年8月にスポーツ振興法がスポーツ基本法に全部改正され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員へ変更となった。それに伴い、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整の役割が追加された。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町行事や各種団体、町内会のスポーツ行事への協力や指導を行っており、依頼者や行事参加者から大変喜ばれている。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	スポーツ活動推進の中心的な役割を担っており、貢献度は非常に大きい。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援するとあり、スポーツ活動の普及啓発を推進することとしているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	スポーツ基本法において、市町村がスポーツを推進する体制整備のため、スポーツ推進委員を委嘱するものとなっており、その支援も町が行うべきであるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症による影響で、イベントが実施できなくなった事に起因し、成果があげられなかった。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進委員の活動を支援する事業であり、これ以外の対象はない。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進活動の活動がしやすくなるようにその事務局運営等の支援をすることが有効である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は、報酬・研修会参加のための費用等、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ推進委員の活動の恩恵を受けるのは、町民全体と考えられる。誰でも取り組める生涯スポーツの普及を図ることを目的として活動をしているので、対象は町民全般となるので、受益者負担を求める必要はない。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	新型コロナウイルス感染症予防のため、町行事がほぼ中止となった。これからは各種団体からの協力依頼が増加し、町のスポーツ推進のための重要な存在になると思われる。推進委員は研修会により知識向上に努め、今後の活動に活かしていく。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	<b>a</b>	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	<b>D</b>	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502102
事務事業名	スポーツ協会支援事業		担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
					10	教育費
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		06	保健体育費
				02	体育振興費	
根拠法令条例等	志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 46 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		⑦ 志免町スポーツ協会	団体	1	1	1
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町のスポーツの普及、振興を図る志免町スポーツ協会の活動支援を行う ・補助金の交付				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	千円	目標	4,458	4,458	98.2%
				実績	4,046	4,378	
イ	成果	スポーツ協会会員数	人	目標	1,900	1,900	92.6%
				実績	1,870	1,760	
ウ	成果	スポーツ協会部数	部	目標	17	17	100.0%
				実績	17	17	
エ	成果	スポーツ協会主催大会開催数	回	目標	20	18	66.7%
				実績	2	12	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			4,046	4,462	4,378	4,462		
合計(A)			4,046	4,462	4,378	4,462		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,436	1,457	1,449	1,471		
	トータルコスト(A)+(B)		5,482	5,919	5,827	5,933		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.19	0.19	0.19	0.19		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和46年10月、体育協会(5種目204名)発足。平成10年4月より自主運営化した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 時代の変化に対応するため、名称が体育協会からスポーツ協会に変更となった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	---	----------------------------



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町のスポーツ活動が活発に行われることは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援すると掲げ、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくることとしている。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症による影響で、昨年よりはイベントの実施はできたが、実施できなかったイベントもあり、成果があげなかった。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			志免町の生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する団体であり、他に有効な対策はない。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			予算は、スポーツ活動を支援する最低限の補助金のため、コストの削減は難しい。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	スポーツ協会は、競技力の向上や、町民向けスポーツ大会の開催など、町のスポーツ活動推進に大きく貢献しており、今後も継続的に支援していく必要があると考えられる。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502103	
事務事業名	大会等参加支援事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 科 目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		項	06	保健体育費
					目	02	体育振興費
根拠法令条例等	志免町大会等参加奨励金交付要綱 志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ 糟屋郡民スポーツ大会出場選手	人	未開催	未開催	400
		㊧ 県民スポーツ大会出場選手	人	未開催	49	80
		㊨ 福岡県代表として九州大会や全国大会への出場選手	人	29	47	50
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・大会に参加する経済的な負担が軽減される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	代表として競技に参加する選手に対して、大会等への参加の支援を行う ・助成金、奨励金の交付事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	郡民・県民スポーツ大会出場助成件数	件	目標	480	480	10.2%
				実績	大会未開催	49	
イ	活動	奨励金交付件数	件	目標	20	37	185.0%
				実績	20	37	
ウ	成果	郡民・県民スポーツ大会出場助成金額	千円	目標	1,920	1,920	23.3%
				実績	大会未開催	448	
エ	成果	奨励金交付金額	千円	目標	500	500	72.0%
				実績	205	360	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			754	3,149	1,493	2,975		
合計(A)			754	3,149	1,493	2,975		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,278	1,297	1,374	1,390		
	トータルコスト(A)+(B)		2,032	4,446	2,867	4,365		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.17	0.18	0.18		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和27年に糟屋郡民体育大会が始まり、スポーツを通して、糟屋地区住民の友情の輪を広げようと開催されている。	②事務事業を取り巻く環境の変化 23年度から、「糟屋地区体育大会」から古賀市が離脱し、糟屋郡7町での「糟屋郡民体育大会」となった。 31年度から糟屋郡民スポーツ大会へ名称変更した。 26年度から、九州大会・全国大会等への参加奨励金の交付を行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会の志免町の代表として競技に参加する選手を支援することは、スポーツ活動の推進に結びつく。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	活動に係る経済的負担を軽減することは、総合計画の町が取り組むべきことであるスポーツ活動を支援することにつながる。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	本町出身者が郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会に出場する際の補助であるため、町の関与は妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症による影響で、郡民スポーツ大会などが実施できなくなった事に起因し、成果があげられなかった。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある人が対象。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	スポーツ基本法において、優秀なスポーツ選手を育成するための施策が義務付けられている。大会出場にあたり遠征費等の経費がかかるため、その経費を補助することは有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は、志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある額、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活動できる国や県等の補助金はなく、奨励金を交付する事業であることから受益者負担の考え方はなじまない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報				<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1502104	
事務事業名		新体力テスト会開催事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 科 目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する		項	06	保健体育費	
				目	02	体育振興費		
根拠法令条例等				個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 21 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦町民	人	46,518	46,631	46,532
		②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・自身の体力が把握できる			
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	新体力テスト会の開催を行う ・スポーツ推進委員会での実施内容の検討 ・参加者の募集、準備及び当日進行、後片付け				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	実施回数	回	目標	0	1	100.0%
				実績	0	1	
イ	成果	参加者数	人	目標	未開催	40	120.0%
				実績	未開催	48	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	5	5	5		
合計(A)			0	5	5	5		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)			611	767	776		
	トータルコスト(A)+(B)		0	616	772	781		
	関与職員数(単位:人)	正職員		0.08	0.10	0.10		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民の体力・運動能力向上のための取り組みに対するきっかけづくりとなるよう、平成21年度より開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	-----------------------	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	自身の体力を把握することは、スポーツに取り組むきっかけづくりとなるため、上位施策の目指す姿実現に貢献する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	自身の体力を把握することは、総合計画に記載するスポーツ活動の機会をつくることにつながるため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	心身の健全な発達と豊かな人間性を育むためスポーツ・運動を支援することは、町の役割であり妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	自身の体力を把握する機会を提供し、参加を望む方については受け入れできている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	全町民が対象のため、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	自身の体力を把握するため、新体力テスト会で必要な体力測定することは、手段として適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算は傷害保険料のみである。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民に自身の体力を把握することと体力づくりのきっかけにってもらいたいため受益者負担は考えていない。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	参加者数は新型コロナウイルス感染症予防の影響があったにも関わらず定員よりは多かった。自身の体力を把握し、日常的な体力づくりを行うような仕掛けが必要である。日常的な体力づくりをすることのきっかけづくりとして参加者をさらに増やすようにPR活動の必要がある。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	<b>a</b>	<b>業務の内容は適切である</b>				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	<b>D</b>	<b>成果・費用とも維持</b>				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502201	
事務事業名	糟屋地区社会教育振興会参画事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 科 目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個 別 計 画	項	05	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 30 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 糟屋地区社会教育振興会 ⑧ ⑨ ・活動が活発に行われる	団体	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	糟屋地区1市7町で構成される「糟屋地区社会教育振興会」への参画を行う ・負担金支払事務 ・各種会議への参加				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,619	1,532	1,828
				実績	1,619	1,532	
イ	活動	会議参加回数	回	目標	75	75	75
				実績	69	77	
ウ	成果	会議開催回数	回	目標	75	75	75
				実績	69	77	
エ				目標			
エ				実績			
オ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			1,622	1,548	1,535	1,844		
合計(A)			1,622	1,548	1,535	1,844		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,204	997	1,150	1,239		
	トータルコスト(A)+(B)		2,826	2,545	2,685	3,083		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.16	0.13	0.15	0.16		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 糟屋地区社会教育振興会は昭和30年代と 思われ、糟屋地区の社会教育関係機関及び 団体相互の連絡調整を図り、糟屋地区社会 教育の振興、発展に寄与する目的で開始さ れた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 糟屋地区社会教育振興会の目的として、①社会 教育関係機関、団体相互の連絡調整に関する こと ②社会教育関係職員の研修並びに指導者の養成 に関すること ③社会教育の振興並びに調査研究 に関すること ④公民館活動の振興に関する こと ⑤人権・同和教育の研究に関すること ⑥社 会体育の振興に関すること ⑦表彰に関する こと ⑧その他本会の目的達成に必要なこと などがあり、年々運営が厳しくなっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	糟屋地区の社会教育の進行と発展を目的に設立された糟屋地区社会教育振興会の活動が活発に行われることは、上位施策の目指す姿の実現につながる。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、町が取り組むべきことでスポーツ活動、生涯学習、文化活動を支援することとしており、糟屋地区社会教育振興会の設立目的と合致するため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	糟屋地区の社会教育振興を図る事業であり、自治体が主体的に取り組む必要がある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	糟屋地区各市町と連携して事業を進めており、期待する成果が得られている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	この事業において、糟屋地区社会教育振興会を対象とすることは適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象において、各種会議へ参加し各市町と意見交換または情報共有を図ることが意図を達成するうえで最も有効な手段である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各市町担当者会において、必要最低限の人員で効率的に業務を行っている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	糟屋地区1市7町で均等割と人口割で積算した金額が負担金となっており、現在これ以上削減する余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	糟屋地区各市町の負担金で運営されており、国や県等の補助金等はないため適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502202	
事務事業名	社会教育委員の会運営事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	05	社会教育費
					目	01	社会教育総務費
根拠法令条例等	社会教育法、志免町社会教育委員に関する条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 47 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 社会教育委員 ⑧ ⑨ ・活動が活発に行われる	人	9	9	9
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	社会教育に関する諸計画の立案や研究調査、教育委員会への諮問をする社会教育委員の会の運営を行う (委員構成:学校長(小中学校)2名、公民館長2名、文化協会1名、スポーツ協会1名、識見を有する者3名) ・会議運営事務 ・研修会、大会等の引率 ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	社会教育委員の会開催数	回	目標	5	5	80.0%
				実績	4	4	
イ	活動	社会教育研修会、大会引率回数	回	目標	7	7	85.7%
				実績	6	6	
ウ	成果	社会教育研修会、大会参加延べ人数(社会教育委員)	人	目標	56	63	87.3%
				実績	47	55	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			155	932	513	995		
合計(A)			155	932	513	995		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,731	1,607	1,608	1,632		
	トータルコスト(A)+(B)		1,886	2,539	2,122	2,627		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.23	0.21	0.21	0.21		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和47年から。社会教育法第15条による。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 社会教育委員のあり方、取り組み方がわかりにくい。(社会教育委員)
---------------------------------------	-----------------------	--



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	社会教育委員の会の活動が活発に行われることは、町のスポーツ・文化活動の振興につながり、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	2		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	各社会教育委員が積極的に活動へ参加しており、期待する成果が得られている。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	定例会議や糟屋地区代表者会議への参加、各市町社会教育委員担当者との連携など必要最低限の人員で効率的に業務が行われている。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
		0点	1点	2点	3点	新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きを取り戻し、各種研修会や大会等も集合形式で開催されるようになった。また、社会教育委員主催の町研修会実施や糟屋地区社会教育委員の研修会担当など、事業機会が減少する中においても積極的な活動を行うことができた。今後も会議や研修会等へ意欲的に参加し、社会教育委員としての見識を深め、志免町の社会教育振興を図る取り組みに繋げてもらいたい。
	いづれか0点	d	c	c	c	
	いづれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	<b>D</b>			
縮小		F				
休廃止	G					
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報

令和04年度 実施計画事業  総合戦略該当事業

事務事業コード 1502203

事務事業名	文化協会活動支援事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	05	社会教育費
根拠法令条例等	文化芸術基本法、志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 60 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 志免町文化協会	団体	1	1	1
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、響、文化祭芸能発表、芸術祭等)をしている町文化協会への支援を行う ・補助金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,260	1,260	100.0%
				実績	964	1,260	
イ	成果	文化協会会員数	人	目標	450	400	50.0%
				実績	347	200	
ウ	成果	文化協会サークル数	団体	目標	65	60	75.0%
				実績	54	45	
エ	成果	文化協会主催事業数	回	目標	6	6	66.7%
				実績	0	4	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			1,260	1,260	1,260	1,260		
合計(A)			1,260	1,260	1,260	1,260		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,204	1,607	1,150	1,239		
	トータルコスト(A)+(B)		2,464	2,867	2,410	2,499		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.16	0.21	0.15	0.16		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町文化協会は昭和60年に志免町文化活動の推進役として、また、町民の心のふれあいを目的に「心豊かなまちづくり」をモットーに創立している。	②事務事業を取り巻く環境の変化 文化協会は、志免町の文化の伝統を継承している。新規加入の団体は増加しているが、若年層の加入は少ない。今後も長く活動を行うために、組織の刷新が必要になってくる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 若年層の参加を増やすためには、どのような活動を行っていかればいいのか検討が必要(文化協会)
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町文化活動の推進役である文化協会への支援を行い活動が活発に行われることは、町民が歴史や文化に触れ合える機会をつくり、人々の交流が盛んな活力あるまちを目指す上位施策の実現に直結する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍であったが、感染症対策を徹底した上で、イベント等の活動を実施でき、期待する成果が得られた。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金交付事務やイベント運営等の業務支援は最小限の職員で行っており、見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502204	
事務事業名	文化祭開催事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	05	文化振興費
根拠法令条例等		文化芸術基本法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦文化協会登録団体	団体	42	42	42
		㊧町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(団体)活動、学習意欲が向上する ・(町民)文化活動に触れあうことができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町文化協会や志免町商工会等と連携して文化祭の開催を行う(毎年11月初旬 芸能発表、屋外イベント、作品展示等を実施) ・開催に係る事務 ・文化協会、商工会、各種団体との連絡調整				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化祭開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	0	
イ	成果	文化祭参加団体数	団体	目標	55	1	1
				実績	未開催	未開催	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	2,031	7	2,092		
合計(A)			0	2,031	7	2,092		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		908	3,825	1,449	1,552		
	トータルコスト(A)+(B)		908	5,856	1,455	3,644		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.12	0.50	0.19	0.20		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和54年の町民センター開館時に開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 住民・団体主導で行う形式で行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 文化祭に参加された方から、もっと多くの駐車場確保を行ってほしいとの意見がある。
--	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	文化祭の開催は、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組み、お互いが学びあい高めあうまちづくりを目指す上位施策の実現に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで、文化活動への意欲を高めるため、発表の機会をつくることが掲げられているため適切である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化芸術基本法により、自治体は文化芸術に関する施策を策定し、実施する責務があることが明記されているため妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になり、期待する成果は得られなかった。より多くの町民に参加していただくため、企画や周知方法を検討し、例年通り開催できるようになれば、成果向上の余地が見込まれる。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化活動への意欲を高め、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組むために団体及び町民を対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各種団体と連携して文化祭を開催することは、活動成果発表の場と文化活動に触れ合う機会の提供につながるため適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	企画から実施まで長期間に及ぶため、仕事を兼務している担当職員の負担が大きい。また、企画の考案等にも限界があるため、企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することなども検討が必要である。	2			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会場設営費や運営費等の必要最低限のコストで実施しているが、多少コストを投入してでも企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することで、より質の高い文化祭を開催することができ、町民の参加も増加すると想定される。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助等はなく、町の負担は最低限であり、協力団体にも運営費等を負担いただいているので適切である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。今後の状況にもよるが、令和4年度は感染対策を徹底したうえで開催出来るよう準備を進め、商工会(商工まつり)との合同開催に向けて、文化協会や各種団体とも連携を密に図っていきたい。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点	c	b	a	a			
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果) 商工会(商工まつり)との合同開催により経費縮減と来場者の増加が期待される。また、職員の業務負担軽減及びより質の高い文化祭を開催する方法として、企画から運営までを専門の民間企業に委託することも今後検討していく必要がある。
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	<b>B</b>	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>B</b>		成果拡充・費用維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502205	
事務事業名	図書館図書貸出事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
根拠法令条例等		図書館法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・読みたい本を借りることができる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	図書の貸出を行う ・図書の購入、除籍 ・本館での図書貸出業務、出張貸出、団体貸出 ・調査研究への資料提供				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	蔵書数	冊	目標	140,000	130,000	130,000
				実績	142,855	143,275	110.2%
イ	活動	開館日数	日	目標	298	297	298
				実績	219	296	99.7%
ウ	活動	公民館等での出張貸出回数	回	目標	25	25	25
				実績	0	0	
エ	成果	1日平均貸出冊数(延べ貸出冊数/開館日数)	冊	目標	700	700	730
				実績	750	722	103.1%
オ	成果	1日平均貸出人数(延べ貸出人数/開館日数)	人	目標	150	150	170
				実績	162	161	107.3%
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	3,071	0	
受益者負担			36	40	75	0		
その他特定財源			0	0	0	40		
一般財源			7,050	9,096	8,391	12,714		
合計(A)			7,086	9,136	11,537	12,754	9,136	
(内 会計年度任用職員人件費)						2,298		
	正職員人件費[按分](B)		5,499	3,675	3,824	2,710		
	トータルコスト(A)+(B)		12,585	12,811	15,361	15,464		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.73	0.48	0.50	0.35		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成3年、町民の要望により図書館が開館した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 資料貸出は減少。ただいつも来館してくれている人の来館・貸出、転入者や近隣の市町の人々が少しずつではあるが利用されている。志免町民はWEBによる予約・リクエストが出来ることの広報を行うことにより件数が少しずつ増えてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 意見・要望としてはないが、リクエスト票では文学書や実用書、雑誌が多いが、最近は児童書や絵本などの要望も多くなってきている。
--	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民が読みたい本を借りることができるようにすることで、図書館法にもより、町民の生涯学習や文化活動が充実するため、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	図書館法第3条に基づき、公共図書館は資料を収集・整理・保存し、一般公衆の利用に供しなければならない。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	図書館法において、地方自治体が公共図書館を設置することとなっている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	月替わりで、本のテーマ展示を行い関連図書を紹介する等、多様化する利用者のニーズに対応し、ホームページやLINE等を活用して積極的に情報発信していく。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	誰でも図書館を利用できるため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在貸出しているのは本や視聴覚資料であり、手段としては適切である。また令和5年4月から電子図書等の貸出等ができよう進めている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	図書館システムとの関連させた業務の流れで行っている。不具合などが発生した場合もその場で対応できている。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	図書館法に基づく資料の収集と一般に供するために、必要最低限のコストである。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国県からの補助はない。図書館法で入館や資料の利用に対して対価を徴収してはならないようになっている。ただし、資料を酷く破損した場合には、利用者に弁償してもらっている。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	今年度も引き続き、新型コロナウイルスに対する感染症予防が必要ではあったが緊急事態宣言などによる休館はほとんどなかったため、ほぼ通常どおりの開館日数となった。新型コロナ過前までとはいかないものの、1日平均貸出冊数、1日平均貸出人数ともに昨年度より増加した。 ただ、全国的な傾向として、電子書籍等インターネット環境の普及がさらに進んでいることや近隣の書店や他市町の図書館を利用している方を奪い合うようになっており、貸出冊数は現状維持もしくは微増の状態である。 小中学校を通して読書通帳の利用を促進し、子どもの利用者・貸出冊数を増すとともに、町民限定サービスであるWEBでの予約・リクエスト件数が増加するよう周知していきたい。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	<b>a</b>	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	<b>A</b>	月替わりで、本のテーマ展示を行い関連図書を紹介している。本のリクエストが出来ることを周知するなど様々な工夫をしている。引き続き、環境整備を進め本がさがしやすい館内、利用者ニーズに応える蔵書の充実にも努め、ホームページ等を活用して新しい情報を発信していく。また、令和5年4月から大野城市・粕屋町・新宮町と共同で電子図書館を開設するのでどの程度利用されるのか今後注視していきたい。
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	<b>A</b>	成果拡充・費用拡大				コストの方向性(一般財源・関与職員数) 広域電子図書館を共同で運営する1市3町(大野城市、粕屋町、志免町、新宮町)で、貸出冊数や利用登録者数の実績をみながら、今後の電子書籍蔵書数を検討していく。 電子書籍には、2年間で閲覧権限が消滅するものがあるため、令和6年度に対象の書籍数が大幅減となることが予想されるため、1市3町の担当者会では令和6年度の電子書籍購入費に係る予算増を見込んでいる。

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502206	
事務事業名	図書館一般講座開催事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
根拠法令条例等		図書館法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	図書館法の第三条により、一般公衆の希望に沿い、学校教育を援助し、家庭教育の向上に資する活動するため、社会教育における学習の機会を利用して、教育活動等を提供するため。				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	幅広く各種教養講座の開催を行う ・講座の企画、立案 ・開催の準備、実施、後片付け				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	講座開催数	回	目標	1	1	1
				実績	0	0	
イ	成果	講座延べ参加者数	人	目標	50	50	50
				実績	未開催	未開催	
ウ	成果	参加者の満足度	%	目標	90.0	90.0	90.0
				実績	未開催	未開催	
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	30	0	0		
その他特定財源			0	0	0	30		
一般財源			0	25	0	25		
合計(A)			0	55	0	55		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		676	1,682	1,449	695		
	トータルコスト(A)+(B)		676	1,737	1,449	750		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.09	0.22	0.19	0.09		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成3年の開館当初から実施。図書館は生涯学習の中核であり、住民からの要望や資料を有効に利用することを啓発するため、講座を開催することとなった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 他課による類似した講座の開催が増えてきた。平成25年度までは「文学講座」、「歴史講座」と、内容によってタイトルを変えていたが、平成26年度から「教養講座」に変更した。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 「文学講座」「歴史講座」や「一般実用講座」など多様な内容について開催が望まれている。(参加者からの意見)
---	--	--



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町民の生きがい・仲間づくりにつながることから、総合計画の施策に一致しているため妥当である。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			図書館法に基づき、生涯学習の機会を提供することは妥当である。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	感染症対策しながら開催できるイベントを検討していく。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町民を対象としているため適切である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			企画の段階でニーズを把握し、それに沿ったテーマで講座を開催していく。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業が小規模なため、職員一人で取り組んでいることから改善の余地は無い。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			予算計上は講師謝礼金のみであり、削減の余地は無い。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			受益者負担として、参加者には材料費の一部を負担してもらっている。

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も講座はすべて中止した。状況に応じて、実施可能な講座を検討する必要がある。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	<b>a</b>	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	<b>D</b>	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502207
事務事業名	図書館ボランティア活動支援事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		10	教育費
根拠法令条例等	志免町立町民図書館ボランティアサークル助成金交付要綱			個別計画	05	社会教育費
					06	町民図書館費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ ボランティア活動団体(助成金交付団体)	団体	5	5	5
		㊧ ボランティア会員(助成金交付団体のみ)	人	61	59	60
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	活動場所の提供や助成金の交付によるボランティア活動の支援を行う ・ボランティア活動団体との連絡調整 ・助成金の交付 ・研修会、交流会の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	助成金額	千円	目標	115	115	100.0%
				実績	82	115	
イ	活動	研修会、交流会開催数	回	目標	4	4	50.0%
				実績	0	2	
ウ	成果	ボランティア活動回数(助成金交付団体)	回	目標	220	220	63.6%
				実績	111	140	
エ	成果	研修会、交流会延べ参加者数	人	目標	2	5	#DIV/0!
				実績	未開催	5	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			82	115	115	115		
合計(A)			82	115	115	115		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,657	2,068	2,066	927		
	トータルコスト(A)+(B)		1,739	2,183	2,181	1,042		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.22	0.27	0.27	0.12		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 開館当初からボランティアの活動団体は2団体であり、その後6団体となった。また、子ども読書活動推進計画により、PTA学校ボランティアも各小学校ごとに計4団体できた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 おはなし会の要請や行事が増え、ボランティアとの協働なくしては読書推進や図書館運営は図れない。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ボランティアの方が高齢の為、新しい(できれば若い)ボランティアの方が増えてほしいとの声あり。(助成金交付ボランティア団体の方から)
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	図書館ボランティアの活動が活発になることで、図書館の発展や町民の読書活動の推進につながっている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町の総合計画に基づき、町民の生涯学習や文化活動を支援することとしているため妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民への読書普及促進や町民図書館の健全な発展向上のためのボランティア団体を支援する事業であるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症予防のため活動範囲がコロナ禍前よりは少ないが、出来る範囲で引き続き活動ができるよう支援していく。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	図書館ボランティアに支援する対象を限定しているため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各団体への支援は助成金の金銭面だけではなく、定例会開場の確保なども行っていて適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	担当職員1名で行っているため見直す余地は無い。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交付要綱に定められている対象経費に対して助成金を交付しているため適正である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助金は無い。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため前年度より活動回数を増加したもののコロナ禍前までどのような活動はできなかった。またボランティア団体会員が高齢者が多いことから対面になる事業実施(特に読み聞かせなど)が難しかった。そのため各団体に”今何が出来るか”、”出来ることから行動する”等と個別にヒアリングを行い、少しずつ活動開始に向けた情報共有を行った。新しい会員の加入を目的として、団体ごとに活動内容を紹介する掲示物を作成し、開館30周年記念講演会会場に隣接する施設に掲示し、多くの方に周知ができた。読み聞かせボランティアに関しては、対面による読み聞かせが一部の小中学校で実施できた。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	<b>a</b>	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	<b>D</b>	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502208	
事務事業名	図書館開館30周年記念事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個別計画	項	05	社会教育費
実施期間					目	06	町民図書館費
		<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 年度より開始		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)R 3 年度~ R 4 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
②意図(対象をどのような状態にしたいか)		⑦ 町民	人	46,518	46,631	-
		⑧ 図書館来館者(のべ人数)	人	40,425	54,890	-
③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動		・町民図書館を再認識し、利用する				
		町民センター大ホールにて開館30周年記念講演会を開催する ・参加者募集、受付 ・講師を招聘する ・会場準備、隣接した会場でぬりえ展覧会・ボランティア活動の展示を実施 ・当日の運営				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	リーフレット作製数	冊	目標	500	-	
				実績	500	-	
イ	活動	講演会開催回数	回	目標	4	-	
				実績	4	1	
ウ	成果	記念講演会、ぬりえ展覧会の参加者数	人	目標	400	400	133.0%
				実績	未開催	532	
エ				目標			
オ				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			147	400	0	0		
合計(A)			147	400	0	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
正職員人件費[按分](B)			5,056	4,361	4,356	4,030		
トータルコスト(A)+(B)			5,203	4,761	4,356	4,030		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.67	0.57	0.57	0.52		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 開館して30年を迎え、節目の年として町民、図書館利用者に対してこれまでの図書館のあゆみ、感謝の気持ちを伝えることを目的として実施することとした。	②事務事業を取り巻く環境の変化 コロナ禍で様々なイベントが実施できない状況が続いており、令和3年度開催予定を1年延期して令和4年度に開催した。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 開催を1年延期したことで、十分な準備ができた。 目標の参加者数には達しなかったが、参加者からは「楽しかった」、「とても内容が良かった」等といった感想を聞くことができた。
--	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民、図書館利用者に開館30年を迎えたこと、図書館の実績等を伝えることで、本に親しむきっかけになり生涯学習につながる。	2		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	様々な資料を収集し、提供する図書館は地域における情報拠点としての役割を担うため、サービス内容など広く周知する必要がある。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	記念行事は、図書館の設置者が取り組む事業である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	参加者の満足度が高い講演会を開催することができた。広報、ホームページ等で開催時の様子を掲載し、開館30周年記念の事業として広く周知した。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	本事業は、町民と図書館利用者であり対象を限定するものではない。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	感染症拡大防止のためリーフレット配付、集客しないイベントを行うのは適切である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	当初は令和3年度開催予定だったが感染症拡大防止のため講演会を中止し、一年延期して開催したことから計画的に準備を進めることができた。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	予算計上は講師謝礼金のみであり、削減の余地は無い。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	県費補助金交付を受け、事業費の一部を充当した。			
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
		0点	1点	2点	3点	感染症拡大防止のため、一年延期して講演会を開催し182名参加した。隣接する町民ホールにて、講演会に関連しためりえ展覧会を実施し350名の作品を展示した。準備期間が一年間延びたことで、余裕をもって準備をすすめることができた。電話、窓口、メールによる参加申込方法とし、誰もが申し込みやすいよう工夫した。参加者同士の距離を保つため、席数の50%に相当する人数を定員(400名)として設定し、安心して参加できる環境を整えた。参加者から「楽しかった」、「子どもが杉山先生(講師)の本を読むようになった」、「親子で参加できてよかった」という感想が多く、内容が充実した。満足度の高い講演会を開催することができた。
	いづれか0点	d	c	c	c	
	いづれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	<b>G</b>				
<b>G</b>	終了廃止					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502209
事務事業名	生涯学習ボランティア講師派遣事業		担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		10	教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	05	社会教育費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 11 年度より開始				08	生涯学習運営費
				<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦町民	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・生涯学習活動が活発に行われる  ボランティア指導の登録者を町民の学習の指導者として派遣を行う ・指導者の登録 ・町民からの要請受付、紹介、派遣 ・講師への謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	ボランティア指導の登録者数	人	目標	40	40	40
				実績	38	41	102.5%
イ	活動	町立小、中学校への派遣回数	回	目標	10	10	10
				実績	0	0	
ウ	活動	町内会または公民館への派遣回数	回	目標	4	4	4
				実績	0	1	25.0%
エ	成果	ボランティア指導者より指導を受けた人数	人	目標	800	500	100
				実績	0	0	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	10	0	10		
合計(A)			0	10	0	10		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		528	536	533	312		
	トータルコスト(A)+(B)		528	546	533	322		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.07	0.07	0.07	0.04		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月、生涯学習館開館時に町民の学習活動の推進を図るため、あらゆる種目のボランティア指導者の登録を行い、町民の要請があれば指導者を派遣できる体制を作った。	②事務事業を取り巻く環境の変化 町民独自で指導者を探されることも多くなり、生涯学習館からの派遣が少なくなっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 派遣を行った団体から好評を得ている。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内で生涯学習が活発に行われることは、町民が学びあい、高めあうまちづくりにつながる。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	生涯学習活動を行っている講師等の情報収集して、町民へ情報提供するのには生涯学習を推進する行政の役割であるため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症拡大のため、生涯学習の活動が行われていないので、講師派遣についても要請がない状況である。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民の依頼により、学習したいことについて指導者を派遣しているので適正である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民から要請があった場合、指導者登録の中から適任者を探して派遣しているので適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の時間と人員で業務を行っており、これ以上の見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	講師の交通費の費用のみであるため、これ以上削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>b</b>		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)  コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502210
事務事業名	生涯学習推進委員会運営事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		10	教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	05	社会教育費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始				08	生涯学習館運営費
				<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 生涯学習推進委員会	団体	1	1	1
事業内容	③手段(どのようにして)	・生涯学習館の運営についての意見が活発に出される				
	※04年度に行った主な活動	住民参加と民主的な運営を図るために生涯学習推進委員会を設置、運営を行う(委員数:8名、委員会概要:町民の学習要求の調査、年間サークル活動や主催講座に対する意見具申、生涯学習館へ運営に関する助言、指導) ・会議開催に係る事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	会議開催数	回	目標	3	3	66.7%
				実績	2	2	
イ	成果	運営に反映された意見数	件	目標	3	3	66.7%
				実績	2	2	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	0	48	96		
合計(A)			0	0	48	96		
(内 会計年度任用職員人件費)								
正職員人件費[按分](B)				991	1,390			
トータルコスト(A)+(B)			0	0	1,039	1,486		
関与職員数(単位:人)		正職員			0.13	0.18		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月から生涯学習館の建築後、生涯学習館の運営について住民の意見を反映するため設置された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 新型コロナウイルス感染症の状況もあるので、様子見が必要となってくる。定員も10名にしたりがあるのではないかと。パソコン講座も定員割れしている状況なので、ジュニアでも企画して欲しい。学校でもパソコンは使われているが、基礎を教えて欲しい。パソコンに潜む危険性についても教えて欲しい。講座によっては、定員20名に対して2倍となっているが、講座回数を増やすことも検討すべきではないか、などの意見・要望があった。
---	-----------------------	---



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	委員会の設置により、町民の様々な意見を聞き取る事ができ、またその意見を反映させることにより民主的な生涯学習館の運営を図る事ができるため、施策への貢献度は高い。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			関連する条例において、住民の参加と民主的な活動を図るために、委員会を設置することとなっているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			関連する条例において、委員会を設置することとなっており、その庶務を町で行うこととなっている。また、委員募集では町民から公募する住民参画の機会を取り入れている。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	毎回様々な提案や意見をいただいております、行政側では気づかない点もあるため、委員会を通じて、館の利用者や受講生の声を聞くことで成果が得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			この事業において、生涯学習推進委員を対象とすることは適切である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			対象において、委員会の開催に参加することが意図を達成するうえで最も有効な手段である。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	生涯学習に興味を有した委員へ委嘱することで効率的に運営できている。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			投入コストは委員活動に対する報酬が主であり、町民の様々な意見を聞き取り、情報共有及び情報提供するためにも削減の余地はない。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			生涯学習委員への国や県等の補助金等はないため適切である。

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) 今後も委員会を通じて、館の利用者や受講生の声を聞くことで成果の向上が期待できると推測するが、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視していく必要があると考える。
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502211
事務事業名	生涯学習館一般講座開催事業				担当課	社会教育課		担当係	生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興		予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する			款	10	教育費	
					項	05	社会教育費		
					目	08	生涯学習館運営費		
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例				個別計画				
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民 ⑧ ⑨ ・生涯学習のきっかけづくりができる ・知識、技能が習得できる ・仲間づくりができる	人	46,518	46,631	46,532
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	講座の開催を行う ・講座(長期、単発)の企画、広報やホームページで募集、受講希望者の受付、開催 ・講座運営業務委託契約事務、支払事務、講師謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	講座企画数	講座	目標	35	50	76.0%
				実績	37	38	
イ	活動	講座開催数(延べ)	回	目標	200	200	61.5%
				実績	89	123	
ウ	成果	講座受講者数	人	目標	600	600	82.3%
				実績	339	494	
エ	成果	講座の満足度	%	目標	99.0	99.0	98.8%
				実績	94.5	97.8	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			314	820	471	0		
その他特定財源			0	0	0	820		
一般財源			3,070	4,354	3,291	4,368		
合計(A)			3,384	5,174	3,762	5,188	5,174	
(内 会計年度任用職員人件費)			2,088	2,177	2,077	2,235		
正職員人件費[按分](B)			1,657	1,682	1,299	1,703		
トータルコスト(A)+(B)		5,041	6,856	5,061	6,891			
関与職員数(単位:人)	正職員		0.22	0.22	0.17	0.22		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立されてから。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 女性の割合が多く男性が少ない。 親子で参加できる講座などを企画してほしい。
---	-----------------------	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	この事業の成果と上位施策の成果は同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			条例により、生涯学習館において生涯学習を推進する事業を行うこととなっているため。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	長期講座の期間や回数等を見直す(例:同じ講座を半年ずつ2回行うなど)ことで、より多くの町民の参加者を増やすことができると考える。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			一般講座の受講対象者は町民全体であるため。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			条例により、生涯学習を推進する講座を開設することとなり、他に有効な手段はない。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	関与職員等も最小限で行っているため適切である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			講座開催に必要な最小限の費用で行っているため適切である。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			平成24年度より受益者負担の原則に則り受講料の徴収を開始している。また、国や県の補助等はない。

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502212
事務事業名	生涯学習館学習発表会開催事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
	取組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する		10	教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	05	社会教育費
					08	生涯学習館運営費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 講座受講者(一般、ジュニア長期、サークル受講者)	人	143	371	350
		⑧ 町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・(講座受講者)学習意欲が向上する ・(町民)生涯学習に対する興味や関心が深まる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	生涯学習館の主催講座や自主サークルの受講生が、学習した成果を発揮できる発表会(年1回、3月第1日曜日)の開催を行う(ステージ発表、作品展示、体験講座ブース、作品販売、講師登録者によるPR) ・企画、運営、発表者の受付				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	開催数	回	目標	1	1	100.0%
				実績	未開催	1	
イ	成果	発表団体数	団体	目標	12	5	120.0%
				実績	未開催	6	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	510	39	510		
合計(A)			0	510	39	510		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		908	1,297	916	1,320		
	トータルコスト(A)+(B)		908	1,807	955	1,830		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.12	0.17	0.12	0.17		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習館が開館し、主催講座で学習された成果を年度末に発表して住民に生涯学習の意識の向上を目指す目的で開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 生涯学習推進委員より、生涯学習館フェスタの来場者が、展示及び発表等を見学することで学習意欲を高め、館主催の講座やサークルの受講生が増えることが望ましいとの意見がある。
---	-----------------------	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	この事業の成果と町が取り組むべきことは「生涯学習・文化活動を支援する」同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	発表者や来館者から頂いた意見や改善点を実行することで成果の向上が見込まれる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めつため、生涯学習館で学んだことの成果を発表できる機会を作るとは、総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会場設営などは業者委託により効率的に行っている。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の経費で行っている。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国、県等の補助はない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>b</b>	課題が少しあり業務の一部見直しが必要					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報				<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1502301	
事務事業名		町民センター管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費	
					項	05	社会教育費	
					目	04	町民センター管理費	
根拠法令条例等		社会教育法、志免町立町民センター条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民(及び町外利用者)	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・町民センターを安全で快適に利用できる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町民センターの維持管理業務と施設利用の受付業務を行う ・業務委託契約、支払事務 ・施設修繕契約、支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	町民センター開館日数	日	目標	280	306	78
				実績	223	306	100.0%
イ	活動	施設整備点検箇所数	箇所	目標	14	14	14
				実績	14	14	100.0%
ウ	活動	工事・修繕箇所数	箇所	目標	5	5	2
				実績	4	4	80.0%
エ	成果	年間利用者数(生涯学習2号館分含む)	人	目標	30,000	30,000	8,500
				実績	18,451	33,770	112.6%
オ	成果	施設稼働率(時間単位)(生涯学習2号館分含む)	%	目標	15.0	15.0	20.0
				実績	12.1	17.1	114.0%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			2,396	3,200	4,182	750		
その他特定財源			0	0	0	50		
一般財源			31,297	31,056	26,991	20,769		
合計(A)			33,693	34,256	31,173	21,569		
(内 会計年度任用職員人件費)			7,757	7,965	7,845	5,936		
	正職員人件費[按分](B)		5,953	5,817	6,199	3,254		
	トータルコスト(A)+(B)		39,646	40,073	37,372	24,823		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.79	0.76	0.81	0.42		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民のコミュニティの場及び生涯学習の場の提供。昭和54年開館時から維持管理業務を着手。	②事務事業を取り巻く環境の変化 町民センターは、施設の老朽化が進んでいる。大ホール(814席)は、舞台等の吊り物点検、照明・放送機材点検、エレベーター点検等が必要である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 開館から30年経過しており、建物の破損や付帯設備の老朽化が進んでおり、利用者より補修の要望が出ている。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	志免町の社会教育の拠点として町民センターを安全で快適に利用できることがスポーツ・文化活動の支援につながっている。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民センターを安全に快適に利用できるような状態を保つことが、スポーツ・文化活動ができる場を提供することにつながり、意図として適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立町民センター条例等により、町が町民センターの管理運営を行うこととなっている。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍においても感染対策をとりつつ一定の利用がされており、また事故等も起こっていないため。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民及び町外の方も広く利用できるため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、施設を適正に管理運営することが最も有効かつ必要である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要な費用である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受益者負担は適正である。国、県等の補助金は特にない。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502302	
事務事業名	図書館管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	町民図書館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	06	町民図書館費
根拠法令条例等	図書館法、志免町立町民図書館協議会に関する条例、志免町立町民ふれあいセンターに関する条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 3 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 町民(及び広域利用者)	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・町民図書館を安全で快適に利用できる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	図書館の環境整備、維持管理を行う ・目視による館内の点検、施設修繕契約、支払事務 図書館協議会の運営を行う(委員8名、町民図書館の運営に関して館長の諮問に応じ、意見等を述べる) ・協議会の開催、資料作成、報酬支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	開館日数	日	目標	298	297	298
				実績	219	296	99.7%
イ	活動	協議会開催数	回	目標	3	3	3
				実績	3	3	100.0%
ウ	成果	来館者数	人	目標	40,000	40,000	40,000
				実績	40,425	54,890	137.2%
エ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	
オ	成果	施設に関する苦情件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	1	#DIV/0!
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			22,625	22,893	22,083	23,498		
合計(A)			22,625	22,893	22,083	23,498		
(内 会計年度任用職員人件費)			21,101	21,982	21,261	22,515		
正職員人件費[按分](B)			3,019	3,975	3,984	2,872		
トータルコスト(A)+(B)			25,644	26,868	26,066	26,370		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.40	0.52	0.52	0.37		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成3年、町民の要望により図書館が開館し、以来使いやすく清潔で快適な図書館を目指してきた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 図書館が設置されているふれあいセンターは、築25年を経過し施設の老朽化が進んでいる。施設管理を行う健康課と連携しながら、町の公共施設個別施設計画に基づいて改修していく。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・季節や行事に合わせた飾りつけが好評(利用者から) ・協議会委員になった事により、図書館のことがよく理解できてよかったとの事。(協議会委員より)
---	---	---



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民が安心して図書館を利用するための事業であり、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立ふれあいセンター条例に基づき、常に良好な状態において管理し、その設置目的に応じて効率的な運用をしなければならない。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立ふれあいセンター条例等により、町が設置し管理運営を行うこととしているため妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	安心して利用できるように施設の維持管理はできている。そのため館内表示やサインなどを増やし、また見えやすさを工夫し、利用者にとって本を探しやすい環境を整えている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町内または近郊の住民であり、事業を行う上では対象は適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、施設の維持管理が有効な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	業務の見直しの余地はなく、効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を管理運営するために必要なコストである。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県からの補助金はなく、町の予算措置が必要				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	館内の環境整備として、レイアウト変更や飾り付けを行うなど、見た目には好感が持てるよう工夫した。 本が探しやすい(利用しやすい)図書館となるよう、利用者目線でサイン(本を探す目印)や掲示物を改善していく。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
		合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
	<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	<b>D</b>			
縮小		F				
休廃止		G				
	<b>D</b>	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502303	
事務事業名		広域体育施設活用事業		担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	06	保健体育費
				目	03	体育施設費	
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 9 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・町にはない公営プールとトレーニング施設を低料金で利用できる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を低料金で利用できるよう、施設利用の契約を行う ・施設指定管理者との契約事務 ・負担金支払事務 ・広報への掲載				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	負担金額	千円	目標	1,000	1,000	31.8%
				実績	213	318	
イ	活動	ホームページ、広報掲載回数	回	目標	13	13	100.0%
				実績	13	13	
ウ	成果	プール利用延べ人数	人	目標	3,500	3,500	23.6%
				実績	433	826	
エ	成果	トレーニング室利用延べ人数	人	目標	19,300	19,300	51.0%
				実績	6,719	9,840	
オ	成果	利用可能日数	日	目標	306	306	100.7%
				実績	226	308	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			213	1,136	317	1,136		
合計(A)			213	1,136	317	1,136	1,136	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		676	686	841	856		
	トータルコスト(A)+(B)		889	1,822	1,159	1,992		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.09	0.09	0.11	0.11		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、近隣のプール・トレーニング施設管理者と利用契約し、町民の方が安く利用できるようにした。	②事務事業を取り巻く環境の変化 24年度より、プールの指定管理者が西部ガスグループ共同事業体へ変更した。それに伴い、契約金額及び町負担額が増額した。29年度より、プールの指定管理者が福岡県スポーツ振興センターに変更。元年10月の消費税率改正に伴い、プール・トレーニング室の利用料金が増額したため、志免町との契約においても利用者負担が増額した。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 施設利用者から、今後も継続してほしいとの声がある。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町に設置困難な施設について、近隣施設を低料金で利用できることは、スポーツ活動の環境づくりとなり、上位施策の目指す姿実現につながる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ・文化活動ができる場を提供するとあり、近隣施設の利用を支援しますと明記されている。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症による影響で、利用者の激減などに起因し、成果があげられなかった。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			志免町に住所登録がある人が施設利用できるようにしているため。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			予算は、契約事務と支払事務のみであり、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502304	
事務事業名	社会体育館等管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計	
	取組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		10	教育費	
根拠法令条例等	スポーツ基本法、志免町学校施設開放の管理運営に関する条例、志免町社会体育館の設置及び管理に関する条例			個別計画	06	保健体育費	
					03	体育施設費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊦社会体育施設等	施設	15	15	15
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)社会体育施設等を安全で快適に利用できる ・(社会体育施設等)安全で快適に利用できるよう管理される				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	社会体育施設等(町民体育館、西地区社会体育館[+卓球場]、桜丘共同利用施設体育館、各小学校グラウンドと体育館8施設、志免中グラウンド、志免中体育館[+武道場、卓球場]、東中体育館)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き、貸出調整				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	日	目標	342	342	342
				実績	248	342	100.0%
イ	活動	施設使用受付件数	件	目標	9,000	9,000	9,000
				実績	5,993	8,958	99.5%
ウ	活動	修繕実施箇所	箇所	目標	15	15	15
				実績	8	13	86.7%
エ	成果	延べ使用者数	人	目標	273,000	273,000	273,000
				実績	151,529	209,126	76.6%
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	97.2	99.7	99.7%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	10	
受益者負担			845	1,210	2,095	1,431		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			12,825	15,166	13,294	14,488		
合計(A)			13,670	16,376	15,388	15,929		
(内 会計年度任用職員人件費)			2,089	2,151	2,150	2,246		
	正職員人件費[按分](B)		676	2,829	3,057	3,103		
	トータルコスト(A)+(B)		14,346	19,205	18,445	19,032		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.09	0.37	0.40	0.40		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 施設の予約方法、受益者負担及び広域的な施設使用などに対する意見や要望が多く寄せられている。
--	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民のスポーツ活動の促進により、体力の向上や健康増進に役立っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	関連する条例により、各施設の管理を町が行うこととなっているため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができています。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	全町民が対象のため、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	体育施設において適正管理に努め、町民にスポーツ活動の場を提供する事ができ適切であるが、使用申込手続きについては、インターネット予約などの検討が必要。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最小限の事業費で実施している。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	平成28年度より受益者負担(使用料)の徴収を開始したが、受益者負担金額をさらに上げることでコストを削減が見込めるが、今後、周辺自治体の料金と比較するなど、状況に応じて検討することは考えるが、今のところ現状維持。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)  コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502305	
事務事業名	運動広場管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		項	06	保健体育費
				目	03	体育施設費	
根拠法令条例等				都市公園法、志免町公園条例		個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊧運動広場	施設	4	4	4
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)運動広場を安全で快適に利用できる ・(運動広場)安全で快適に利用できるよう管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	運動広場(町民広場、西地区運動広場、東公園グラウンド、桜丘運動公園野球場)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き、貸出調整 ・グラウンド整備、草刈				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	日	目標	342	342	342
				実績	248	342	100.0%
イ	活動	施設使用受付件数	件	目標	1,200	1,200	95.8%
				実績	824	1,149	
ウ	活動	グラウンド整備箇所	箇所	目標	4	4	100.0%
				実績	4	4	
エ	成果	延べ使用者数	人	目標	34,000	34,000	89.8%
				実績	25,256	30,518	
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	%	目標	100.0	100.0	93.3%
				実績	88.7	93.3	
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	-	
受益者負担			221	350	251	-		
その他特定財源			0	0	0	-		
一般財源			5,443	5,761	5,325	-		
合計(A)			5,664	6,111	5,576	-		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		4,148	2,904	3,217	-		
	トータルコスト(A)+(B)		9,812	9,015	8,793	-		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.55	0.38	0.42	-		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 施設の予約方法、受益者負担及び広域的な施設使用などに対する意見や要望が多く寄せられている。
--	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民のスポーツ活動の促進により、体力の向上や健康増進に役立っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が維持管理しているため、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができています。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	運動広場の使用は全町民が対象のため。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正な施設管理と公平な施設許可により、町民にスポーツ活動の場をできています。しかし、使用申込手続きについては、インターネット予約などの検討が必要。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最小限の事業費で実施している。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	平成28年度より受益者負担(使用料)の徴収を開始したが、受益者負担金額をさらに上げることでコストを削減が見込めるが、今後、周辺自治体の料金と比較するなど、状況に応じて検討することは考えるが、今のところ現状維持。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)  コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502306	
事務事業名	総合公園施設管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総体 計画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算 科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
					項	06	保健体育費
					目	03	体育施設費
根拠法令条例等				都市公園法、志免町公園条例		個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊧ 総合公園施設	施設	2	2	2
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)総合公園施設を安全で快適に利用できる ・(総合公園施設)安全で快適に利用できるよう管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	総合公園施設(野球場、テニスコート)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き(抽選会含む)、貸出調整(ナイターに限り抽選会実施) ・グラウンド整備、光熱水費の支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	日	目標	342	342	342
				実績	248	342	100.0%
イ	活動	施設使用受付件数	件	目標	5,000	5,000	5,000
				実績	2,965	4,422	88.4%
ウ	活動	グラウンド整備回数	回	目標	3	2	2
				実績	2	2	100.0%
エ	成果	延べ使用者数	人	目標	33,000	33,000	45,000
				実績	26,396	42,907	130.0%
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	79.4	100.0	100.0%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	19	
受益者負担			3,076	4,200	4,024	4,924		
その他特定財源			6,000	7,298	7,298	0		
一般財源			3,034	2,551	1,644	9,170		
合計(A)			12,110	14,049	12,966	14,113	未定	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		4,000	2,989	3,366	5,582		
	トータルコスト(A)+(B)		16,110	17,038	16,332	19,695		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.53	0.39	0.44	0.72		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 総合公園を整備した昭和51年度から開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 テニスの使用者が年々増加傾向にある。町外在住者の使用が増えた。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 受益者負担及び広域的な施設使用などの意見要望が多く寄せられている。
--	--	---



事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民のスポーツ活動の促進により、体力の向上や健康増進に役立っている。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が維持管理しているため、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができています。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	全町民が対象のため、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	体育施設において適正管理に努め、町民にスポーツ活動の場を提供する事ができ適切である。しかし、使用申込手続きについては、インターネット予約などの検討が必要。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最小限の事業費で実施している。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	平成28年度より受益者負担(使用料)の徴収を開始したが、受益者負担金額をさらに上げることでコストを削減が見込めるが、今後、周辺自治体の料金と比較するなど、状況に応じて検討することは考えるが、今のところ現状維持。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)  コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業			<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502307
事務事業名		体育施設整備事業			担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総合計画 体系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計	
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費	
					項	06	保健体育費	
					目	03	体育施設費	
根拠法令条例等				個別計画				
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 3 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 社会体育施設等	施設	21	21	21
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・安全性、機能性、利便性が向上する  社会体育施設等の整備を行う ・志免町弓道場用地整備工事 ・階段式観覧席設置工事 ・その他工事				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率		
ア	活動	施設整備件数	↑	件	目標	7	5	5	100.0%
					実績	5	5		
イ	成果	施設整備率	↑	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
					実績	71.4	100.0		
ウ					目標				
					実績				
エ					目標				
					実績				
オ					目標				
					実績				
カ					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	129,590	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			25,025	59,787	57,590	149,890		
一般財源			913	1,297	1,552	9,869		
合計(A)			25,938	61,084	59,142	289,349	未定	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		5,731	5,667	6,732	6,358		
	トータルコスト(A)+(B)		31,669	66,751	65,873	295,707		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.76	0.74	0.88	0.82		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、町民の一人ひとりが、生涯スポーツに取り組める環境整備などを目的として開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、改修、撤去、新設などが必要。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 社会体育施設等利用者から施設改修などの要望があった場合その都度対応している。また、利用していた施設の使用停止に伴い、活動できる施設の建設を要望している団体もいる。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が既存・新設を含め、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が維持管理しているため、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	既存・新設を含め適用可能な補助金の情報を集める。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業の対象を社会体育施設等とすることで、安全性・機能性・利便性の向上を図る。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	社会体育施設等の安全性・機能性・利便性の向上を図るため、整備を行うことは適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設整備に必要な最低限の予算計上となっており、これ以上削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町財政の負担軽減を図るため、補助金等の財源確保を図る。出来るかぎり、事業対象補助金の利用を検討する。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502308	
事務事業名	町民センター改修事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		款	10	教育費
根拠法令条例等				個別計画	志免町公共施設個別施設計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返		年度より開始	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)R 3年度~R 7年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 町民センター	施設	1	1	1
事業内容	③手段(どのようにして)	町民センター(中央公民館棟・機械室棟・生涯学習2号館棟・共同利用施設棟)の耐震補強や老朽化した設備・機器の改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図る。				
	※04年度に行った主な活動	・町民センター改修基本設計 ・中央公民館棟、機械室棟の耐震診断評定取得				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	調査設計件数	件	目標	1	1	0
				実績	1	1	100.0%
イ	活動	改修工事件数	件	目標	0	0	1
				実績	0	0	
ウ	成果	事業進捗率	%	目標	20	40	60
				実績	20	40	100.0%
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	46,300	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	65,780	56,980	14,443		
一般財源			19,791	0	0	0		
合計(A)			19,791	65,780	56,980	60,743	未定	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		3,916	2,829	2,833	4,343		
	トータルコスト(A)+(B)		23,707	68,609	59,813	65,086		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.52	0.37	0.37	0.56		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町民センターは建築から約40年が経過し、建物及び設備機器等の老朽化が著しく、町民が安全で快適に利用できる環境を維持するためには、施設の改修を行い長寿命化を図る必要があることから開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 社会情勢の影響により世界的に物資の製造・調達(流通)が停滞し、労務費や建築資材等の高騰化など、改修に係る費用の増大が見込まれる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 建物の長寿命化に併せて、施設の機能性向上や周辺環境の整備について要望がある。
--	---	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民センター改修事業により安全で快適な活動ができる施設環境を提供することは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共施設個別施設計画において、建物の機能を回復・向上させる長寿命化改修を行うことになっているため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が所有する公共施設(社会教育施設)であり、公共施設個別施設計画に沿って自治体が主体で取り組む事業である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	成果の達成に向けて計画的に事業を進めており、現状では期待する成果が得られている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	建物の安全性・機能性の向上を達成するうえで、町民センターを対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センターの改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図ることが意図を達成するうえで最も有効な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の状況や課題を把握している職員と建築士の資格を有する職員で連携を図り、専門的な知見などを有した業者へ委託することで効率的に事業ができています。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センター改修工事に係る必要最低限のコストとなっており、現在はこれ以上削減する余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設長寿命化に係る国の起債や県の補助金等について調査検討した結果、起債を使用することが最も財源確保に適切である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) 令和4年度は、基本設計に則って実施設計を行い、改修工事に向けて発注準備に取り組んだ。令和5年度から着工を予定しており、令和7年11月供用開始を目指し、スケジュール管理等を徹底して確実に事業を進めていきたい。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
合計6点		c	b	a	a		
<b>a</b>		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	<b>D</b>			
縮小		F				
休廃止		G				
<b>D</b>		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1502309
事務事業名	生涯学習館管理運営事業			担当課	社会教育課	担当係 生涯学習1号館
総合計画系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予算科目	01	一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する		10	教育費
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例			個別計画	05	社会教育費
					08	生涯学習館管理費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊧ 利用登録団体	団体	494	383	380
		㊨ 生涯学習館	施設	1	1	1
②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・(町民、利用登録団体)生涯学習館を安全で快適に利用できる ・(生涯学習館)安全で快適に利用できるよう管理される					
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	生涯学習館(ホール、会議室等)の管理運営を行う ・管理、保守点検業務委託契約事務、修繕依頼、支払事務 ・施設貸出の受付等				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	開館日数	日	目標	305	306	100.0%
				実績	223	306	
イ	活動	維持管理業務委託件数	件	目標	10	10	100.0%
				実績	10	10	
ウ	成果	延べ来館者数	人	目標	20,000	18,000	89.7%
				実績	7,133	17,946	
エ	成果	施設平均稼働率	%	目標	60.0	50.0	75.5%
				実績	41.3	45.3	
オ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	
カ	成果	施設に関する苦情件数	件	目標	0	0	
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	6	
受益者負担			805	1,625	1,285	1,512		
その他特定財源			0	0	0	125		
一般財源			15,201	18,070	17,274	19,067		
合計(A)			16,006	19,695	18,558	20,710		
(内 会計年度任用職員人件費)			5,808	6,235	6,087	6,396		
正職員人件費[按分](B)			4,222	4,671	5,432	3,950		
トータルコスト(A)+(B)			20,228	24,366	23,991	24,660		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.56	0.61	0.71	0.51		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成27年10月から使用区分及び使用料を見直し、使用1時間ごとの料金設定とした。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	生涯学習の場である、生涯学習館を快適に利用できることは、町民が生涯活動の親しみやすい環境づくりとなるため、上位施策の目指す姿の実現に貢献する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ、文化活動ができる場を提供する」と掲げているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町が生涯学習を推進する場として設置しており、その管理運営を行うことが妥当である。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	生涯学習館は町民及び在勤の方も広く利用できるため。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			施設を適正に管理し運営することが最も有効かつ必要である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要最低限の費用である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			国、県等の補助金は特にない。また利用者においては利用料を徴収している。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
<b>a</b>	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	<b>D</b>		
	縮小		F			
	休廃止	G				
<b>D</b>	成果・費用とも維持					